

神奈川県教育委員会教育長 殿

県立 横須賀高等学校長

平成27年度学校目標設定報告書(定時制)

次のとおり学校目標を設定しましたので報告します。

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
<p><b>&lt;教育課程&gt;</b>  (1) 生徒の多様なニーズに応じた柔軟なカリキュラムを展開する。  (2) 三修制の学習機会を充実させる。</p>	(1) 1年生に関して早い時期に個別指導が必要かどうかを判断し、取出し授業や個別指導を行うなど個に対応した柔軟なカリキュラムを展開する。 (2) 3年間での卒業を目指す生徒のために、通信制高校との連携や学校外の学修による単位認定制度を活用するほか、就業体験活動の単位認定により進路への意識づけを図ることによって、生徒の学習意欲の向上を図る。	(1) 個別学習指導が必要な生徒の把握を十分行ない、取出し授業の実施や個別指導プログラムを作成できたか。 (2) 三修制のガイダンスから、卒業後の進路についての意識づけを行い、三修制希望者の学習意欲向上につながったか。
<p><b>&lt;生徒指導・生徒支援&gt;</b>  (1) 生徒個々に応じた教育相談体制を充実させる。  (2) 生徒指導の徹底により、ルール・マナーや交通安全を尊重する態度と規律ある学習環境を構築し、生徒が安心できる学校環境を整える。</p>	(1) ①教育相談コーディネーターと養護教諭が中心となり、定期的にケース会議を行う。 ②生徒の日常の様子、出席状況をきめ細かく把握し、保護者への連絡を密にとる。また、面談週間を各学期に設定し、本人・保護者の相談に対応する。 (2) ①日常的な巡回指導により、生徒との信頼関係を構築するとともに、安全・安心な校内環境を築く。 ②授業や学校行事など、様々な場面で規範意識や安全に対する意識を高める工夫を織り込む。	(1) ①ケース会議、拡大ケース会議を定期的に行ない、教職員全員で生徒情報を共有し、個別の支援体制を充実させることができたか。 ②日常生活や出席状況・欠課時数等を保護者に定期的に連絡することにより、保護者との協力関係が築けたか。 (2) ①巡回指導により落ち着いた校内環境を築き、問題行動の減少につなげることができたか。 ②様々な場面での取り組みが生徒の規範意識・安全意識の向上につながり、学習環境を整えることができたか。 (生徒アンケート)
<p><b>&lt;学習指導・授業改善&gt;</b>  (1) 基礎学力の定着を図るため、新たな授業展開を開発する。  (2) 社会生活に必要なコミュニケーション能力をはぐくむ取組みを充実させる。</p>	(1) ①全体で研究授業に取り組み、校内研修会をとおして本校の課題を共有し、授業改善に繋げる。 ②基礎学力と学習習慣を定着させるための年度初めの1年生の学習形態をさらに発展させ、また1年生の数学の授業を習熟度別に行うことで個々の生徒の実態に合った授業を行う。 ③長期休業中の学習会の内容を充実させ、各学年の生徒に適した指導を行う。 (2) 「総合的な学習の時間」等を活用し、生徒相互のコミュニケーション能力を高める。	(1) ①校内研修会で課題を共有することによって授業改善に繋げることができたか。 ②1年生を対象とした新たな学習形態及び習熟度別授業を継続・発展させることができたか。 ③長期休業中の学習会の内容が充実し生徒に適した指導ができたか。 (2) 「総合的な学習の時間」の中で、生徒が自ら考え判断して自分の考えを伝えることができたか。

<p><b>&lt;キャリア教育&gt;</b>  (1) キャリア教育をさらに充実させ、生徒個々の進路意識を高める。  (2) 集団の中での社会性を培うため、生徒主体の行事や活動を支援し、自己肯定感を高める。</p>	(1) ① 1～3年生に対する多様なガイダンスを企画・運営し、キャリア教育実践プログラムを体系的に実施することで生徒の進路に対する意識を向上させる。 ② 卒業予定者の進路指導の日程を早めに設定する。 (2) 生徒の主体的活動の場や発表機会を設け、多くの生徒の学校行事への参加を促す。	(1) ① 1～3年生の生徒の進路に対する意識を向上させることができたか。 ② 就職および進学希望者が確実に進路を決められたか。 (2) ① 生徒主体の活動の場（生徒会・部活動発表等）を設定し、内容の充実が図れたか。 ② 学校行事に8割以上の生徒が参加したか。
<p><b>&lt;地域等連携&gt;</b>  (1) 保護者や地域との連携を深めると同時に、外部人材の活用を推進し、教育活動を効果的に展開する。  (2) ホームページ、学校案内等の広報活動を充実させ定時制への理解を深める。</p>	(1) ① メール配信の積極的な利用により保護者への連絡を密に行い、授業等の見学や学校行事への参加を促す。 ② 卒業生や保護者、地域の人材を活用した学校支援ボランティアの制度の立ち上げに向け検討する。 (2) ① 学校案内やホームページ等を活用して生徒の活動や活躍を紹介し、本校定時制の教育活動を広く発信する。 ② 広報用の学校案内をさらに充実させ、本校への理解を深める。また、中学校教員に向けた情報発信を行い定時制への理解を深めることで、適切な進路指導に繋げる。	(1) ① 学校への保護者の来校数が増加したか。（保護者アンケート） (2) ① 学校案内等を通して生徒の活動を積極的に広報することができたか。 ② 学校案内をさらに充実させ、本校への理解を深めることができたか。
<p><b>&lt;学校運営・学校管理&gt;</b>  (1) 新たな教育活動を展開するとともに、その検証により学校運営の改善に取り組む。  (2) 事故・不祥事の防止を徹底することで信頼される学校づくりを進める。</p>	(1) 従来課題や新たな取り組みについて検討を重ね学校改善につなげる。 (2) 生徒指導や教育相談、事故・不祥事の防止に係る教員対象の各種研修会を企画・実施する。	(1) 学校の課題と改善方策を明らかにする中から新たな取り組みを企画し、学校改善につなげることができたか。 (2) 各種の研修会を通して教員がさらにスキルを高めることができたか。また、事故・不祥事ゼロプログラムを効果的に実施し、事故防止が図れたか。
<p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒の多様なニーズに応じた教育を実践し、個々の生徒の進路実現を支援する。</li> <li>2 規範意識を育てるとともに基礎学力の定着を図り、主体的に生きる力を育成する。</li> <li>3 豊かな心と健やかな体を育む教育を実践する。</li> <li>4 コミュニケーション能力を育み、豊かな人間性と社会性を涵養する。</li> </ol>		